

# 多文化共生事業事例集

年度  
R4

団体名

公益財団法人高知県国際交流協会

助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業

事業費総額 1,274 千円

事業名

空白地域へのオンライン日本語教室開催 及びオンデマンド教材の提供

概要

近隣に日本語教室がない等、いわゆる空白地域在住の外国人住民やコロナ禍で対面形式の参加が難しい本県の外国人住民を対象にオンライン日本語教室の開催及びオンデマンド教材の制作を実施する。

## 事業のポイント

### 【オンライン日本語教室】

各学習者のレベル感やニーズに沿ったクラス設定、県内の空白地域在住者への日本語教育の提供、コロナ禍での新しい生活様式としてのオンライン日本語教室の開催を目的とした。

### 【オンデマンド教材】

生活等に密着した高知の情報と、方言である土佐弁解説とを組み合わせた動画を制作し、県内の日本語教室が教材として活用できるようにした。

## 事業の背景・目的

◇地域によって在住外国人の状況や自治体の人手不足・対応・取り組む姿勢等も異なっており、日本語教室がない等の空白地域は 27 市町村（全 34 市町村）ある。外国人を含む地域住民同士が交流できる場、日本語学習支援の場、地域の核となるコミュニティがない等の課題がある。

## 事業の詳細

### 【オンライン日本語教室】

空白地域在住の外国人住民を主対象にオンライン日本語教室を実施。実施日時や時間帯は、各々のライフスタイルに合わせられるように設定。各曜日全 35 回とした。

- ・実施日時：月曜日昼、水曜日夜、木曜日夜、土曜日朝
- ・レベル感：初級（月曜日昼、木曜日夜、土曜日朝）、入門（水曜日夜）
- ・各クラス定員数：10 名程度
- ・使用した教科書

国際交流基金発行のいそどり入門 A1（水曜夜 の 1 クラス）

いそどり初級（月曜昼、木曜夜、土曜朝の 3 クラス）

- ・クラス 実施回数
- 初級クラス：全 35 回実施
- 入門クラス：全 34 回実施

### ・地域活動

防災学習会、図書館利用学習会、高知県立大学の日本語教員養成プログラム教育実習受入

### 【オンデマンド教材】

空白地域在住の外国人を対象に、防災学習や公共交通機関及び公共施設の利用方法等、生活に密着した高知の情報と方言解説とを組み合わせた動画を制作し、SNS 等のツールに掲載及び共有することで、オンデマンド教材としてより一層の周知と利用促進を図る。



オンライン日本語教室の様子



オンデマンド教材撮影の様子

## 事業実施における工夫点・事業の成果等

### 【オンライン日本語教室】

県内の外国人支援・ボランティア団体である高知日本語サロンの有資格者や外国人雇用事業主支援団体である高知県外国人漁業研修センターの日本語講師、オンライン授業に柔軟に対応可能な人材にクラス運営を依頼した。全員が県内在住の日本語講師であり、人材活躍の場も提供できた。

### 【オンデマンド教材】

動画制作委員会メンバーとして、高知県及び高知市の職員、そして国際交流員（アメリカ・シンガポール・中国・韓国・ベトナム・インドネシア出身）に加わってもらうことで、生活者としての外国人の視点から動画制作に係る企画会議やシナリオ作成及び出演、動画の翻訳字幕への協力を依頼した。



オンデマンド教材

### 【オンライン日本語教室】

①前期 学習者登録数：計 30 名

居住地の市町村数：計 8 市町

当協会登録の国際ボランティア：計 2 名。

②オンライン日本語教室

後期 学習者登録数：計 41 名

居住地の市町村数：計 8 市町

当協会登録の国際ボランティア：計 2 名

③学習者へのヒヤリング実施

今後のオンライン日本語教室に活かすため、水曜夜（入門）及び木曜夜（初級）クラスの学習者にヒヤリングを実施した。

### 【オンデマンド教材】

動画撮影・編集（1 本目）

動画の出演者数：8 名 ＊エキストラ役含む。

協力団体：計 5 団体（高知県、高知市、南国市国際交流協会、とさでん交通株式会社、株式会社 Story）

再生回数：計 8,360 回以上（令和 5 年 6 月末現在）

動画撮影・編集（2 本目）

動画の出演者数：8 名

協力団体：計 4 団体（高知県、高知市、南国市国際交流協会、株式会社 Story）

再生回数：計 1,080 回以上（令和 5 年 6 月末現在）

## 今後の課題・（コロナ禍の状況を踏まえた）将来に向けての展望等

今後在住外国人数は増加し県人口比 1%を超えることが推測される。さらに対面式の日本語教室の様子から、配偶者やその子どもを始めとする家族滞在等、日本語学習歴ゼロの方への支援への対応が課題となることが予想される。オンライン日本語教室や、オンデマンド教材等のオンライン・ICT 等を活用し、個々のライフスタイルや好みで選択でき、日本語学習だけでなく、オフラインでも人と人、コミュニティ、行政とがつながることができる交流の機会を提供していきたい。



### 事業担当者のふりかえり

- ・オンライン日本語教室を開設することで、空白地域が多い高知県内で日本語学習の機会を増強することができた。また、ふだん地域や社会とのつながりを持つことが物理的に厳しい状況・環境にいる方が、自宅から参加できる気軽さだけでなく、講師や他学習者、ボランティア、協力者との交流を通して高知での生活の充実度を上げることができ、自立した生活への支援や後押しができるよう仕掛けづくりや機会を提供していきたい。
- ・オンデマンド教材を制作したことで、高知独特の文化や習慣である、公共交通機関の利用方法、生活や仕事をすなかでよく耳にする方言を知り学ぶことができるきっかけを提供できた。また県内で活躍する国際交流員を活用することで、高知の魅力や国際交流員の人となりも垣間見られる動画となった。土佐方言の教材はほぼないため、これからも本教材を通して、方言を学習する方は土佐弁を学ぶことができ、ネイティブ土佐弁スピーカーは方言のむずかしさに気づくことができる、互いに学び・気づき・そして寄り添い合うことのできる機会を提供していきたい。